

HEART REPORT

ビジョン[ハートレポート]

第58期中間報告書

平成26年2月1日～平成26年7月31日
(証券コード:7956)

CONTENTS

- P.01 トップインタビュー
- P.03 事業のご紹介
- P.05 世界各国の育児事情
- P.06 世界のビジョンからこんにちは!
- P.07 当第2四半期累計期間の経営成果
- P.08 主な経営指標
- P.09 トピックス、会社概要
- P.10 株式の状況など

公益社団法人 発明協会
第36回 未来の科学の夢絵画展
幼稚園・保育園の部 優秀賞

『お手紙しゃぼん玉』

遠くのお友達に声を入れて飛ばせるよ。

まだ字はかけないけど、

お手紙しゃぼん玉で

「遊ぼう!」ってお話するんだ。

社会福祉法人 子育て会 子供の城保育園(山形県)

長橋 千仁ちゃん



経営理念は「愛」 社是は「愛を生むは愛のみ」

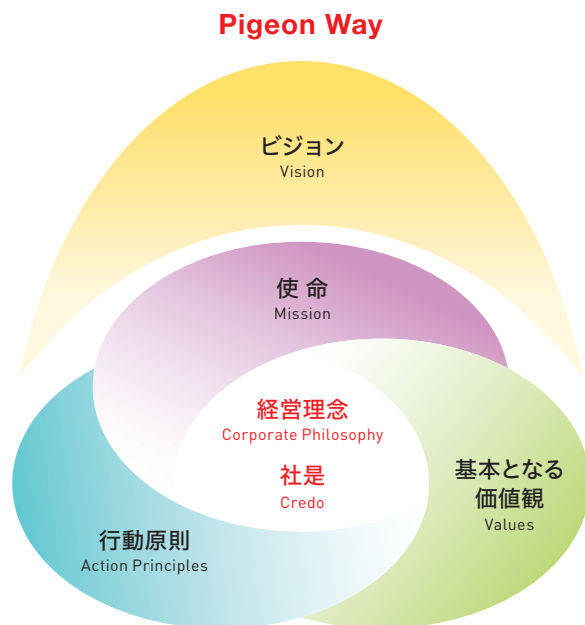
代表取締役社長

山下 茂

Pigeon Way

Pigeon Wayとは

Pigeon Wayは、私たちの“心”と“行動”の拠り所であり、すべての活動の基本となる考え方です。



■ 使命

—どのような形で社会に貢献するのか、また、何のために働くのかを約束するもの

- 「愛」を製品やサービスの形にして提供することによって、世界中の赤ちゃんのご家族に喜び、幸せ、そして感動をもたらすこと

■ 基本となる価値観

—社員一人ひとりが大切にすること

- 誠実 (Integrity)
- コミュニケーション・納得・信頼 (Communication, Consent, Trust)
- 熱意 (Passion)

■ 行動原則

—我々のすべての行動のベースとなり、ガイドとなるもの

- 迅速さ (Agility)
- 瞳の中にはいつも消費者 (Keep sight of consumers)
- 強い個人によるグローバルコラボレーション (Global collaboration among competent individuals)
- 主体性と論理的な仕事の仕方 (Leadership and logical working style)
- 積極的な改善・改革志向 (Willingness to change)

■ ビジョン

—目指す理想の状態、到達したい姿

世界の赤ちゃんのご家族に最も信頼される育児用品メーカー
“Global Number One”



Q. はじめに、第58期第2四半期決算の総括・評価を聞かせてください。

増収増益と好調な結果になりました。特に、重視していた利益面では期待通りの改善をしております。

当第2四半期決算は、売上高は392億29百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は59億85百万円(前年同期比24.3%増)、経常利益は59億57百万円(前年同期比15.4%増)、当期純利益は40億74百万円(前年同期比30.5%増)と、大変好調な業績となりました。

当第2四半期においても好業績を牽引したのは成長ドライバーである中国事業でした。連結売上高の27%以上を占める中国事業は、利益面でも過去最高水準の営業利益率を達成するなど、非常に好調に推移しました。また、中国を除く海外事業についても、欧米をはじめとした主要国の販売が堅調に推移しており、全体の業績に大きく寄与しました。

国内の各事業についても、収益力の強化を図ることができました。国内ベビー・ママ事業は、効率経営を推し進めた結果、営業利益率が前年同期から大きく改善しております。子育て支援事

業についても、保育品質を第一とした事業展開を行いながらも、前年同期比で大幅な増益を達成しました。ヘルスケア・介護事業については、当第2四半期は本格的な増収に向けた準備段階との位置づけでしたが増収増益となりました。本年8月初旬には新商品「尿便おしりにひろがらないシート」を全国で発売開始しており、来年度に市場投入予定の新製品の展開とあわせ、今後の本格的な伸長を期待しているところです。



Q. ヘルスケア・介護事業の本格的な伸長に向けた成長戦略を教えてください。

行動観察をベースにしたピジョンらしい商品を世に送り出すとともに、営業力を強化することで、当社を支えるもう一つの柱の事業となるよう、成長を推し進めていきます。

ヘルスケア・介護事業は売上全体に占める比率は9%程度ですが、市場規模などを考慮すると、当社のもう一つの柱として育成していく必要があると考えています。現在進行中の第5次中期経営計画の最終年度(2017年1月期)までの3年間で、当事業の売上を80億円にまで引き上げ、営業利益率については8.5%の達成を目指したいと思っています。この目標を達成するためには、現状の売上を約2割増やしていく必要がありますが、ピジョンらしい特徴ある商品を世に送り出していくことで実現していきたいと思っています。

ベビー用品と同様に、当社のモノづくりの基本は、このヘルスケア・介護の分野においても、行動観察がベースとなっています。前述した「尿便おしりにひろがらないシート」は、当社がまさに行動観察から生み出した商品で、介護者・被介護者の双方に向けて、お悩みごとを解決するソリューションを提供するものとなっています。紙関係の商品は、拡大する介護市場の中でも特に高い伸びを見せていますが、本商品の投入を通じて、当社がこの介護市場でてこ入れを図るきっかけを作っていきます。また同時に、中期目標達成に向けては営業力の強化も必要です。当第2四半期には、「ハビナース」「リクープ」といった健

康・介護用品をピジョンタヒラに集約化して行うべく、営業部隊の統合を図りました。これまで代理店・施設の両販売チャネルで個々に蓄積してきた知識・ノウハウを一つに融合することで、効率化と営業そのものの強化が図れてきていると手ごたえを感じています。

来年度の上期には、これまで2、3年ほどの月日をかけて開発に取り組んできている新商品を上市する予定にしており、この下期には、本商品の発売に向けて、ヘルスケア・介護事業においては初となる全国代理店会議を開催します。他社にはないピジョンらしい商品を軸に、中期目標の達成に向けた道筋を作っていきたいと思っています。



Q. 3月に策定した「Pigeon Way」について、なぜ今それが必要なのか、その狙いや背景を教えてください。

会社がグローバルに成長していく中で、経営理念や使命、さらにはピジョンで働く上で基本となる価値観などを、全社員に正しく理解してもらう必要があります。

ピジョンの経営理念は「愛」であり、「愛を生むは愛のみ」が社是となっていますが、私はこれらがただのスローガンであってはならないと強く思っています。ピジョンの「愛」は、人が人を大切に作る心であり、その代表的な形が、母の子に対する愛、見返りを求めない愛です。この理念に則って、ピジョンはこれからも、商品やサービスを通じて、赤ちゃんから高齢者まですべての人に喜びや幸せ、感動を提供し続けていかねばなりません。

今のピジョンを見ると、勢いよく成長を続ける中で、多様化・グローバル化が加速しています。その流れの中で、私は、「この経営理念『愛』が、海外も含め全グループ社員にどれだけ正しく理解され浸透しているのだろうか?」という疑問から、業績が好調に推移している今こそ原点に立ち返り、ピジョンの使命やビジョン、個々の社員が業務を遂行する上での基本となる価値観や行動原則を、グループ内で再度共有する必要があると考えま

した。そこで策定したのが「Pigeon Way」です。これは、私を含め、グループ全社員が日々の業務の中でさまざまな判断を行う際の心の拠り所となるものです。「Pigeon Way」の理解と浸透に向けては、私自身も社員と直接顔を突き合わせて議論する場を多く持つようにしていますが、加えて、各人のパフォーマンス評価の中にも、「Pigeon Way」の精神をどれだけ仕事に反映させたかを見直す仕組みを導入しました。

「Pigeon Way」の策定は、「スピード」と「全体最適」をカギとする現行の中期経営計画の目標達成に向けても、意義があります。価値観の不統一は、判断基準にぶれをもたらし、部分最適に陥るリスクにさらされます。私は、「Pigeon Way」を通じて、会社の軸が全グループ内にぶれることなく浸透すれば、各所で迅速な意思決定を全体最適の視点から行えるようになり、それが、将来にわたって当社の持続的成長を支えていくと信じています。



Q. 株主の皆様メッセージをお願いします。

ピジョンはまだまだ企業価値が向上していくポテンシャルがあると考えております。

下期には、国内ベビー・ママ事業で大型商品などの新商品の上市を予定しているほか、海外ではインドで建設中の現地工場において、2015年1月よりプラスチック製哺乳びんや乳首の生産を順次開始していく予定です。

こうした経営施策を着実に実行しつつ、もう一段高い次元へと成長するための課題にも取り組むことで、企業価値にもつながるフリー・キャッシュ・フローは、さらに高い水準に引き上げられると考えています。株主の皆様への中間配当金は、1株当たり45円とさせていただきます。

私自身は、ピジョンはまだまだ企業価値の向上が期待できる未来のある会社だと考えておりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き当社の長期的な成長にご期待いただきながらご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

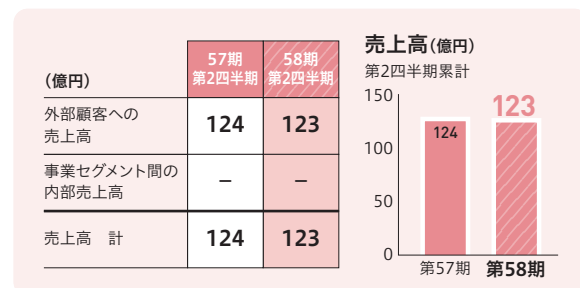
国内ベビー・ママ事業



- 哺乳関連用品
- 女性ケア用品
- IT事業
- 離乳関連用品
- その他ベビー、ママ関連用品
- スキンケア用品
- 大型商品事業

● 事業環境と当社の強み

少子化が傾向ではなく厳然たる事実となった日本において、2013年の出生数は、2012年からさらに約7,000人減少し約103万人まで低下しました。一方、国内は緩やかな景気回復傾向となりましたが、先行き不安感を完全に払拭できず、対象顧客層による買い控えや低価格志向は強まっています。そのような中、ビジョン商品は、半世紀以上にわたる赤ちゃんの哺乳研究や、乳幼児発達研究から生まれる絶え間ない商品開発と改良により、「安全・安心・信頼」のブランドとして広く認知が浸透しており、高いシェアを得ています。今後は大型商品事業の確立と拡大、女性ケアカテゴリの育成による商品カテゴリの拡充、また、既存分野における収益性の向上を図ります。



子育て支援事業



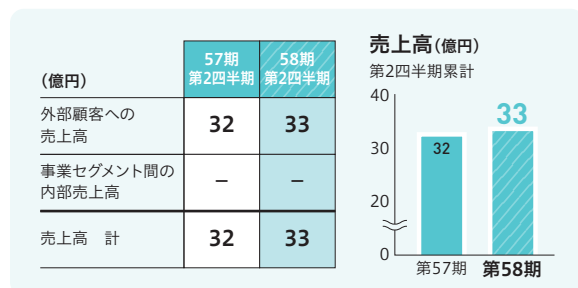
- 保育サービス
- ベビーシッターサービス
- 事業所内保育運営受託
- 幼児教育サービス
- 託児

● 事業環境と当社の強み

子どもは欲しいが働き続けたい、育児をしながら復職したいという女性は増加しており、当社への期待、果たす役割も大きく、具体的には保育園の開設、多様な保育サービスの充実を図るなど、子育て支援事業の展開には追い風が吹いています。

育児用品で培った「安心・安全・信頼」のビジョンブランドのもと、「子どもの育ちを第一に」との考えに沿って本事業を推進しています。国内トップクラスの事業規模と質の高いサービス提供により、皆様から信頼を得ています。

今後も、人材育成システムの充実、サービス内容の拡充を進め、保育品質のさらなる向上を図ります。



ヘルスケア・介護事業

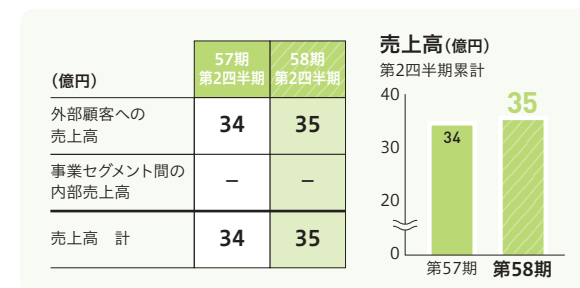


- 介護用品
- 老化予防用品
- 介護支援サービス

● 事業環境と当社の強み

総人口が減少する中で、高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、2013年には高齢化率が25.1%で4人に1人となり、2035年には33.4%で3人に1人となるといわれています。競合各社の商品や営業活動も活発で新規参入事業者数も増加しています。品質に厳しい育児用品で培った実績、信用、ブランドをこの分野でも活かした展開を図っており、お客様の“お困りごと”に応える商品企画力、品質管理レベルの高さが当社の強みです。

今後は、重点商品カテゴリを深耕することにより、商品競争力の向上を図り、施設ルートを中心とした営業活動を展開します。



海外事業

○ベビー、ママ関連用品

展開エリア

アジア …韓国・シンガポール・インド 他 (中国を除く) **中近東** …アラブ首長国連邦 他
北米 …アメリカ・カナダ 他 **その他** …南アフリカ・イギリス・ドイツ・南米 他

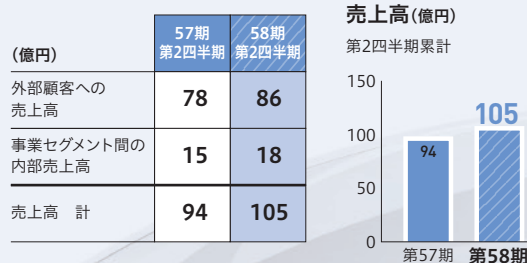
● 事業環境と当社の強み

米国の出生数は、経済先進国の中では比較的安定した水準にあり、母乳育児が推奨され母乳への関心が高まるにつれて、母乳関連商品の需要が上昇しています。

ピジョンは、米国および欧州への営業展開の基盤として、2004年4月に米国ヴァージニア州に拠点を持つ LANSINOH LABORATORIES, INC. (「ランシノ社」) を100%グループ会社化し、中長期的視点で取り組んでいます。

アジアではタイの生産拠点の拡充に続き、インドにも現地法人を設立し、流通体制の構築や販売店舗の拡大を推し進めました。加えて韓国においても、事業拡大に向けた体制強化のために営業支店を現地法人に改組したほか、ロシアでも順調に事業が拡大しています。2014年3月には、ブラジルにも現地法人を設立しました。

今後は、欧米では拡大が軌道に乗ってきたランシノ社による販売を強化するとともに、新興国での展開もさらに積極化させていきます。



中国事業

○ベビー、ママ関連用品

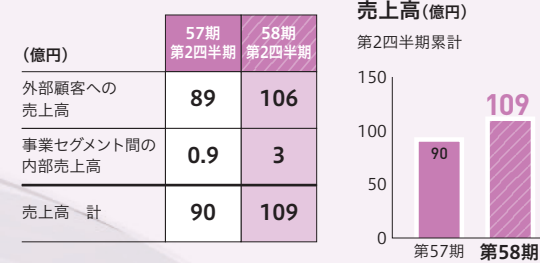
● 事業環境と当社の強み

ピジョンは、2014年に中国市場への本格的参入12周年を迎えました。年間出生数が1,500万~1,700万人で日本の14~16倍といわれている巨大市場の中で、いわゆる「新富裕層」と呼ばれる世帯を主要ターゲットに、哺乳びん・乳首やトイレタリー関連商品を中心に新しいライフスタイルの提案もあわせて事業を展開しています。

現地に根付いているパートナー企業の販売網を通じてピジョンブランドの認知・浸透を図ってきたことで、ピジョン商品の品質とブランドは極めて高い評価を得ており、売上高も年々伸長しています。

中国は沿岸部と内陸部では収入格差などが認められますが、中国全土への展開を進めた結果、すでに内陸部での売上高が沿岸部の大都市である上海、北京、広州での売上高を上回っており、今後もさらに伸長していくことが期待されます。

今後は、これまでの商品に加え紙おむつ、ベビーフードの投入などによる商品群の拡充、病院などへの普及活動の強化とともに、生産コストの管理と安定供給体制についても一層的確に進めます。



※中国事業は、当期から新たなセグメントとして海外事業より独立しました。
 ※数値は、原則として各欄ごとに単位未満を切り捨ててあります。



ところ変われば **育児も変わる。**

世界各国の**育児事情**

vol.1

China

■ 赤ちゃんは「宝宝」

赤ちゃんは世界各国どこに行っても宝物。中国でも赤ちゃんは「宝宝(バオバオ)」と呼ばれ、とてもかわいられます。出産祝いには、赤ちゃんの健康・長寿を願う、金・銀のプレスレットや「長命鎖(チャンミンズオ)」(イラスト)などを贈る習慣があります。また、中国では、産後ママのケアも非常に重視しており、産後1ヶ月は「坐月子(ズオユエズ)」といって、ママは授乳以外にはほとんど起き上がらずに過ごします。そのため病院とは別に、「坐月子中心(センター)」といった、産後ママの母体回復のために、赤ちゃんのお世話や毎日の食事の提供をしてくれる施設もあります。中国でも日本同様、母乳育児が奨励されていて、母乳の出をよくするためにはスーブなどの水分補給が一番良いと考えられているようです。



長命鎖(チャンミンズオ) ▶

■ 中国では、ワーキング・マザーが当たり前！



日本では、「女性活躍」が叫ばれていますが、中国人にとってはもしかすると「何をいまさら」という感があるかもしれません。中国では女性が仕事を持っていることはとても一般的で、両親共働きの世帯が圧倒的多数を占めます！ですから当然、保育園も充実していますが、一部では、保育士不足の問題も見られるようです。出産予定日の6週間前から産休を取得できる日本に比べ、中国では出産前に取得できる休暇は15日間と短く、そのため、お産直前まで大きなおなかを抱えて仕事をする妊婦さんもよく見かけます。産後3~4ヶ月の休暇を経て職場に復帰した後、子どもの1歳の誕生日までは、1日1時間の母乳休憩(時短勤務)を取得できるようですが、特に都市部などでは復帰のタイミングで、母乳から粉ミルクに切り替える人も多いようです。



世界のピジョンからこんにちは！



中国でも大人気のピジョン商品▶

PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD.

ピジョン マニュファクチャリング上海



- 従業員数 ----- 450人
- 事業内容 ----- 妊産婦・乳幼児用品の製造
- 敷地面積 ----- 12,000m²
- 操業開始 ----- 2008年

■ピジョンは中国のお客様から高いご支持をいただいておりますが、社員にとっても魅力的な会社です。

株主の皆様、こんにちは。PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD. の董事・総経理(取締役社長)・周剣峰です。私は、ピジョンが中国に進出してから12年にわたり、創業メンバーとして中国での事業展開を推し進めてまいりました。

当社は、哺乳びん・乳首や、洗剤・トイレタリー用品などの生産工場です。1年間の生産能力は、哺乳びんが2,000万本、乳首が5,000万個、洗剤・トイレタリー用品は1万トン。中国国内向けがメインですが、欧米や、アジア各国向けにも出荷しています。日本と同レベルの高い品質管理機能を有し、独自の研究開発部門を備えていることが特徴です。

おかげさまで、哺乳びん・乳首をはじめとするピジョン商品の多くは、上海をはじめ中国のお客様から最も支持される商品となっています。この背景には、商品の品質やサービスレベルが非常に高いことに加え、確固たるブランドイメージが構築されていることが挙げられます。

一方私たち社員にとって、ピジョンにはまた違った魅力が

あります。会社は社員を信頼し、社員一人ひとりが持ち味や想像力を存分に発揮できるよう支援する。社員は日々の課題から学びを得て成長する——こうしたピジョンの企業風土や職場環境が非常に素晴らしいと感じています。

ピジョンは、これからも中国、そしてグローバル市場において業界のリーダーであり続けるものと期待しています。そして私自身も、絶えず学び、成長していくことで、ピジョンのさらなる発展に貢献してまいります。



董事・総経理(取締役社長)

周剣峰

当第2四半期累計期間の経営成果

売上高は、引き続き中国事業を中心とした海外での順調な業績拡大などにより、392億29百万円(前年同期比7.1%増)となりました。増収の影響に加えて事業拡大に伴う生産拠点の稼働向上などにより、売上原価率が前年同期比で約1.0ポイント改善し、営業利益は59億85百万円(前年同期比24.3%増)、経常利益59億57百万円(前年同期比15.4%増)、当期純利益は40億74百万円(前年同期比30.5%増)と、いずれも前年同期実績を上回りました。

なお、当期期初より、従来の「海外事業」から「中国事業」を分離し、以下の5セグメントで報告することとし、前年同期比較については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

国内ベビー・ママ事業

売上高は、123億91百万円(前年同期比0.7%減)、セグメント利益はマーケティング費用の見直しなどにより販売費及び一般管理費が減少したこともあり、20億29百万円(前年同期比24.7%増)となりました。

2014年2月に赤ちゃんの快適にこだわった両対面式ベビーカー「Mahalo laule'a(マハロ ラウレア)」と、母乳で育てたいママのストレスを軽減し、母乳育児を快適にする「さく乳器 電動」「さく乳器 電動First Class」を、そして3月には赤ちゃんの胎脂に近い保湿成分を使用した「ピジョン ベビースキンケアシリーズ」などを発売しています。

また、ダイレクト・コミュニケーションの一環であるイベントとして、出産前の方を対象とした「おっぱいカレッジ」、妊娠準備期の方を対象とした「働く女性の妊トレ女子会」などを当第2四半期累計期間内において17回開催し、合計で約870名の方にご参加いただきました。そのほかにも、母子に寄り添う子育て中の母乳育児をテーマとした医療従事者向けのセミナーを5回開催し、合計で約500名の方にご参加いただい

ます。妊娠・出産・育児シーンの女性を応援する「クチコミ コミュニティサイト」である「ピジョンインフォ」では、トップページのリニューアルを実施しました。今後もさらにお客様にお使いいただきやすくなるよう、改善を進めていきます。

子育て支援事業

売上高は33億64百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント利益は、依然続く保育士不足による採用費用増を売上総利益の改善などで補い96百万円(前年同期比19.2%増)となりました。なお、事業所内保育施設については、2箇所の新規受託を開始し、サービス内容の質的向上を図りながら堅調に売上を拡大しました。また幼児教育施設においては、2014年4月より導入した数学的体験プログラム「Mathプログラム」がご好評をいただいています。

ヘルスケア・介護事業

消耗商品における競争激化が続く中、売上高は35億21百万円(前年同期比2.1%増)、セグメント利益は販売費及び一般管理費の効率的な活用に努めた結果、2億12百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

2014年2月に従来品の吸水機能はそのままに、さらに穿き心地を改善した尿もれ用吸水機能付き下着「リクープ かるる」を発売しています。引き続き、重点カテゴリに絞った研究の深耕により、競争優位性のある新商品の投入を目指すとともに、施設ルート中心の営業活動強化などの施策実行を徹底していきます。

海外事業

売上高は105億22百万円(前年同期比11.5%増)、セグ

メント利益は22億61百万円(前年同期比14.5%増)となりました。インドにおいては、引き続き当社ブランドの市場浸透を目指して積極的な営業・マーケティング活動を展開しており、今後、販売・流通体制のさらなる強化と、現地工場建設など商品供給体制の整備を進めていきます。北米においては、2014年1月からの哺乳びんの本格的な販売を開始しており、引き続き商品カテゴリの拡充、組織体制の強化などに取り組んでいきます。また本年3月には、新規市場参入に向けた現地市場調査を目的としてブラジルに連結子会社PIGEON PRODUTOS INFANTIS LTDA.を設立しました。今後もさらなる事業拡大を目指した活動を行っていきます。

中国事業

売上高は109億51百万円(前年同期比20.6%増)、セグメント利益は、事業の積極的展開に伴うマーケティング活動などにより販売費及び一般管理費は増加したものの、33億3百万円(前年同期比26.2%増)となりました。マーケティング、販促普及活動の継続的な強化により、哺乳びん・乳首カテゴリ等が順調に伸長しています。なお、2013年7月に発売したベビー用紙おむつは、市場浸透にやや時間を要しており、当初の想定を下回りましたが、今後効果的な販促活動を実施することで着実な販売拡大を目指していきます。

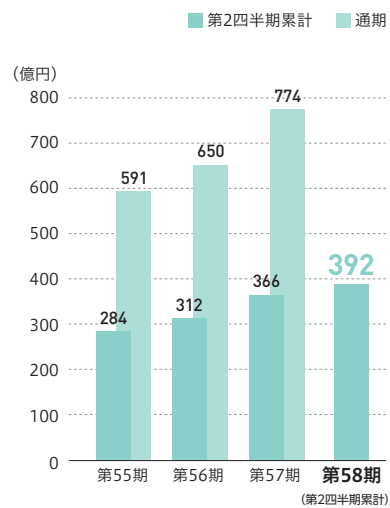
その他

売上高はOEM商品の受注が増加し、6億54百万円(前年同期比18.8%増)、セグメント利益は86百万円(前年同期比35.9%増)となりました。

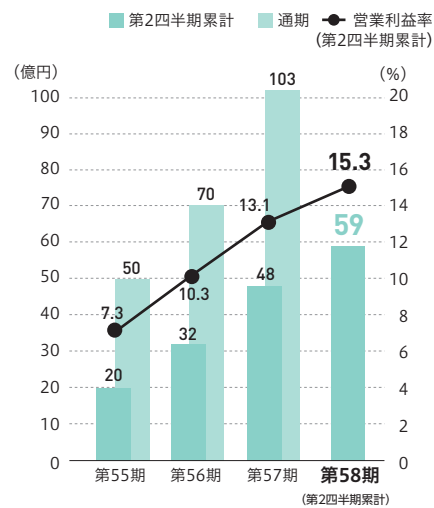
※当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

主な経営指標

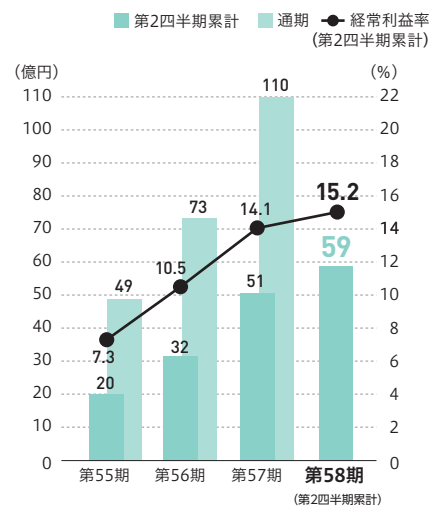
売上高



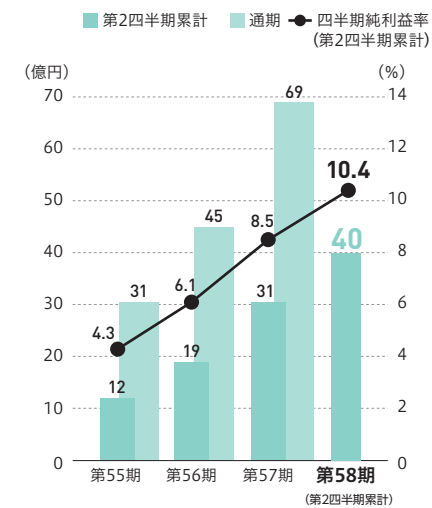
営業利益 / 営業利益率



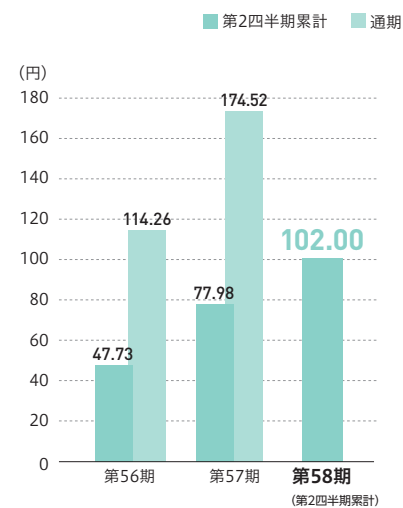
経常利益 / 経常利益率



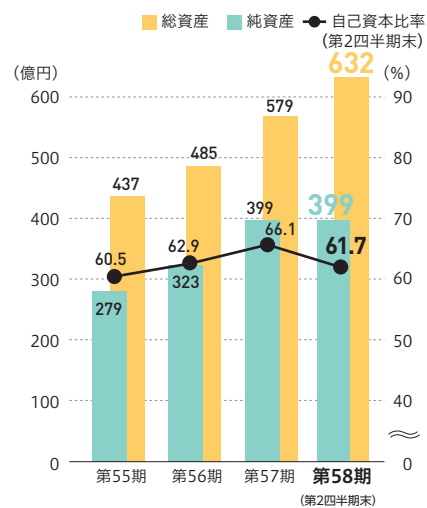
四半期(当期)純利益 / 四半期純利益率



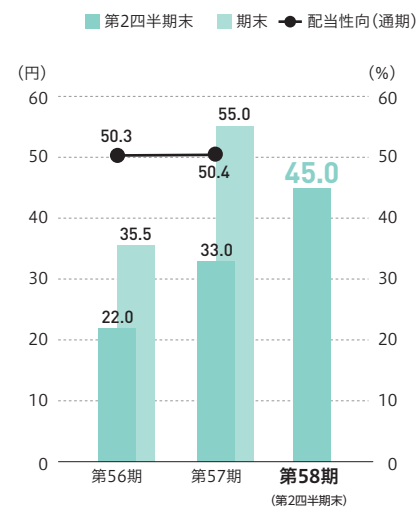
EPS (1株当たり四半期(当期)純利益)



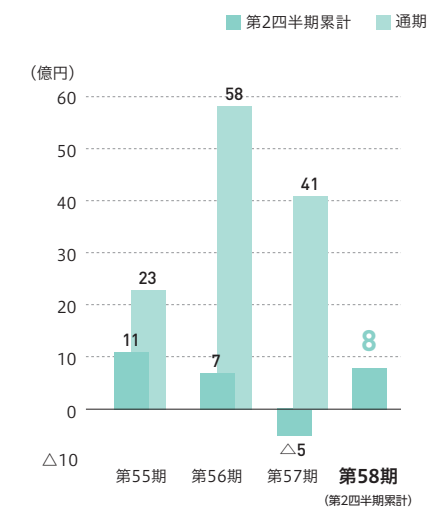
総資産 / 純資産 / 自己資本比率



配当 / 配当性向



フリー・キャッシュ・フロー



※当社は2013年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり四半期(当期)純利益、および配当につきましては、当該分割が第56期の期首に行われたと仮定して算定しております。



TOPICS

ブラジルに現地法人を設立

当社の海外事業は、伸長を続ける中国市場のほか、2004年にグループ会社化した「ランシノ」ブランドでの展開を図っている北米・欧州市場、さらには、インド・韓国・インドネシア・シンガポール、ロシア・中近東などにおいて、積極的に市場開拓を行っています。2014年3月、当社は中南米において初となる現地法人「PIGEON PRODUTOS INFANTIS LTDA.」をブラジル・サンパウロに設立しました。

これに伴い、それまで海外事業本部長を務めていた社員が当地に赴任し、ブラジル市場参入を前提とした現地市場調査や準備業務を本格化させています。

ハワイでグローバル代理店会議を開催

2014年5月、第5次中期経営計画の開始にあたり、全世界の代理店代表者に対してピジョンの戦略等をご理解いただくことを目的に、Pigeon Global Partners Conferenceをハワイで開催しました。計14カ国・地域（パナマ、チリ、中国、韓国、香港、台湾、タイ、フィリピン、インドネシア、インド、ベトナム、オーストラリア、UAE、南アフリカ）から40社を超える代理店の代表者が一堂に会したこの会議では、ピジョン側から、「Pigeon Way」や第5次中期経営計画に掲げたピジョンのグローバル戦略、各国でのシェア目標（KPI）、ブランディング戦略、哺乳びん・乳首戦略、パッケージ戦略などについて説明したほか、中国・韓国・台湾の代理店からはそれぞれの国・地域での活動事例をご報告いただきました。



コーポレートムービーのご紹介

より多くの皆様にピジョンについてご理解いただけるよう、今般コーポレートムービーを作成し、当社ホームページに掲載しました。コーポレートムービーは、「愛をカタチに」「ピジョンのはじまり」「先端の研究から、製品が生まれる」「少子化にも負けない、国内事業」「世界のピジョンへ、海外事業」「子どもたちの未来を育てていきたい（CSR活動）」「社長メッセージ」「世界中の赤ちゃんとママと家族のために」の8編をご用意しています。ぜひ一度ご覧ください。



TITLE
「世界中の赤ちゃんとママと家族のために」



TITLE
「子どもたちの未来を育てていきたい（CSR活動）」

掲載サイト <http://www.pigeon.co.jp/message/movie.html>

Corporate Profile

会社概要（平成26年7月31日現在）

設立年月日	昭和32年8月15日
事業内容	育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
資本金	5,199,597千円
従業員数	本社950名 連結3,592名（※正社員および契約社員の人数）
本社	〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号 TEL 03-3661-4200（代表）
役員	取締役最高顧問 仲田 洋一 代表取締役会長兼取締役会議長 大越 昭夫 代表取締役社長 山下 茂 取締役専務執行役員 赤松 栄治 取締役専務執行役員（海外事業本部長兼中国事業本部長） 北澤 憲政 取締役上席執行役員（ロジスティクス本部長） 甘利 和久 取締役上席執行役員 倉知 康典 取締役上席執行役員（開発本部長） 板倉 正 常勤監査役 高島 康 常勤監査役 湯田 博毅 監査役（社外監査役） 西山 茂 監査役（社外監査役） 出澤 秀二 執行役員（経営企画本部長） 松永 勉 執行役員（経理財務本部長） 牧 裕康 執行役員（人事総務本部長） 浦狩 高年 執行役員（品質管理本部長） 岩本 忍 執行役員（国内ベビー・ママ事業本部長） 橋本 伸行 執行役員（国内ベビー・ママ事業本部長） 笠原 かほる 執行役員（ヘルスケア・介護事業本部長） 石上 光志 執行役員（中国事業本部長） 賀来 健 執行役員（子育て支援事業本部長） 鶴 孝則 執行役員（PIGEON SINGAPORE PTE. LTD. 代表取締役社長） 仲田 祐介 執行役員（PIGEON PRODUTOS INFANTIS LTDA. 出向） 増成 裕之

主要事業所

事業所 茨城県稲敷郡阿見町
東京都中野区

物流センター 茨城県常陸太田市
兵庫県神崎郡神河町

研究所 茨城県つくばみらい市

営業拠点 札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・広島・福岡

次の18社を連結の対象にしています。(平成26年7月31日現在)

- ビジョンホームプロダクツ(株)
- ビジョンハーツ(株)
- PHP兵庫(株)
- PHP茨城(株)
- ビジョンタヒラ(株)
- ビジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.
- PIGEON INDIA PVT. LTD.
- PIGEON MALAYSIA(TRADING) SDN. BHD.
- PIGEON(SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON MANUFACTURING(SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON INDUSTRIES(CHANGZHOU) CO., LTD.
- LANSINOH LABORATORIES, INC.
- LANSINOH LABORATORIES MEDICAL DEVICES DESIGN INDUSTRY AND COMMERCE LTD. CO.
- DOUBLEHEART CO. LTD.
- PIGEON INDUSTRIES(THAILAND) CO., LTD.
- THAI PIGEON CO., LTD.
- PIGEON PRODUTOS INFANTIS LTDA.

次の1社について持分法を適用しています。

- P.T. PIGEON INDONESIA

株式の状況 (平成26年7月31日現在)

発行可能株式総数 120,000,000株

発行済株式の総数 40,551,162株

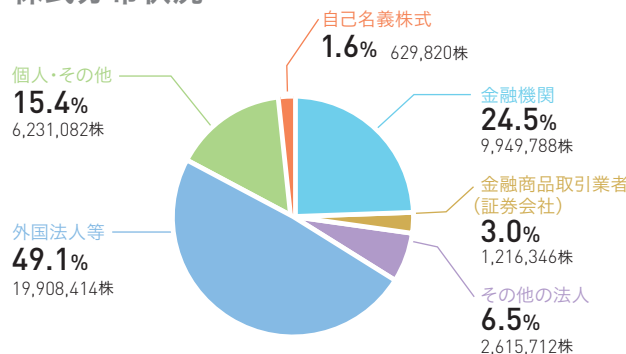
株主数 7,391名

自己株式 629,820株

大株主(上位10名)	持株数 (千株)	持株比率 (%)*
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505041	2,792	7.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,612	6.54
ビービーエイチ マシユーズ アジア デイビデンド ファンド	2,528	6.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,525	6.33
仲田 洋一	2,347	5.88
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	1,306	3.27
ビーエヌピー パリバセック サービス ルクセンブルグ ジャスデック アパディーニングローバルクライアント アセツ	1,013	2.54
ワイ. エヌ株式会社	1,000	2.50
ドイツ証券株式会社	831	2.08
エイチエスピーシー バンク ピーエルシー クライアント ノントラックス トリーティ	756	1.89

※持株比率は自己株式(629,820株)を控除して計算しております。

株式分布状況 (所有者別)



株主メモ

証券コード 7956

事業年度 2月1日から翌年1月31日まで

定時株主総会 毎年4月

期末配当金受領株主確定日 1月31日

中間配当金受領株主確定日 7月31日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同事務連絡先
(お問合せ先郵便物送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711
(通話料無料 平日9:00~17:00)
ホームページ <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告 <http://www.pigeon.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ご案内

株式に関する住所変更等のお問合せおよび届出について

株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店でもお取り扱いいたします。

未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行各支店でお支払いいたします。

インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。

ビジョントップページ <http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報トップページ <http://www.pigeon.co.jp/ir/index.html>

新商品・サービスのご紹介

軽くて持ち運びに便利な 「ぷちグルト」

パッケージの随所におなじみのキャラクター「チー坊」が見られる本商品は、チチヤス株式会社との共同開発で生まれた、月齢7ヶ月ごろからのお子さまに向けたヨーグルト味の乳性飲料です。ビフィズス菌の約1/5サイズの小さな球状の乳酸菌を使用し、腸内に乳酸菌がしっかり届きます。



“ベビー手づくりおやつシリーズ”に パンケーキとプリンが新登場

ベビーにぴったりの甘さ控えめの手づくりおやつシリーズに2つの新商品が登場しました。「どうぶつのミニパンケーキ」は、4種の動物の型つきで、計量がいらす約90秒レンジでチンすれば完成！「ベビープリン」はかぼちゃ味とバナナ味の2種類。お湯で溶かしてから、冷蔵庫で約1時間冷やせばできあがり。どちらも手軽につくれます。



新発想の尿モレ・便モレサポート用品 「尿便おしりにひろがらないシート」

本商品は、紙おむつ・尿とりパッドと併用する新しいタイプのシートです。やわらか素材でどんな体型の方にもぴったりフィットし、「尿便キャッチポケット」が排泄物の広がりを防いでパッドに落とすため、モレを防ぎます。介護される方の不快感やストレスと、介護する方の排泄介助の負担を軽減します。



「ビジョンインフォ」ほかサイトリニューアル

妊娠・出産・育児中の女性と赤ちゃんの快適な生活をサポートするビジョンのクチコミ情報サイト「ビジョンインフォ」と、健康サポート・介護サポート用品の商品情報サイト「ビジョンタヒラの健康・介護用品ガイド」をリニューアルしました。



ビジョンインフォ

<http://pigeon.info/>



ビジョンタヒラの健康・介護用品ガイド

<http://www.pigeontahira.co.jp/>

表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園・保育園の部」の発明協会会長賞ならびに優秀賞を受賞された幼稚園・保育園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために公益社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。



この報告書は環境保全のため、環境に優しい植物油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。

